

昭和二十一年十一月一日

元塔校

井上代

地方復興局総務課長殿

現地今議合依ノ件照会

貴島高等学校「古竹」校舎中「土」事十一月日授業開始予
 定先知建物不足差事務所「要」志「一」方浦
 光澤病院等「抗」張「行」動「了」相「互」回「却」し「現」地「今」議
 斗「開」催「上」至「急」決「定」方「希」望「了」各「付」貴「局」之「能」ヲ「現」地「今」
 議「斗」用「依」セ「テ」取「中」予「教」授「運」轉「中」當「地」之「事」予「貴」局「付」知「日
 一三〇〇頃迄「期」日「場」所「訂」到「等」決「定」上「電」信「通」知「了」り「候」

海軍

海軍

21 2 2

0173

④

美地書復員局長官

二二復員務局長官一〇八號

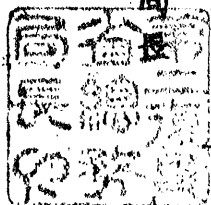
長官

昭和二十一年二月二日

各地方復員局長官殿

庶務課長

第二復員省總務局



21 2 9

0174

飛行機工場、工廠及研究所、保全維持
等二號スル聯合國軍最高司令部指令並
ニ米第八軍指示ニ關スル件通知
シ別紙ノ通指令（海軍關係ノモ抜粹）指示有之候條此段通知候
為通付各地方復員局長官

菅原部
三三三
十二号

(終)

送付済

二復總務局第二一二號 庶務部員

昭和二十一年二月四日

総務部長

（印）

三井物産

第一復局長
 第二復局長
 第三復局長
 第四復局長
 第五復局長
 第六復局長
 第七復局長
 第八復局長
 第九復局長
 第十復局長
 第十一復局長
 第十二復局長
 第十三復局長
 第十四復局長
 第十五復局長
 第十六復局長
 第十七復局長
 第十八復局長
 第十九復局長
 第二十復局長
 第二十一復局長
 第二十二復局長
 第二十三復局長
 第二十四復局長
 第二十五復局長
 第二十六復局長
 第二十七復局長
 第二十八復局長
 第二十九復局長
 第三十復局長
 第三十一復局長
 第三十二復局長
 第三十三復局長
 第三十四復局長
 第三十五復局長
 第三十六復局長
 第三十七復局長
 第三十八復局長
 第三十九復局長
 第四十復局長
 第四十一復局長
 第四十二復局長
 第四十三復局長
 第四十四復局長
 第四十五復局長
 第四十六復局長
 第四十七復局長
 第四十八復局長
 第四十九復局長
 第五十復局長
 第五十一復局長
 第五十二復局長
 第五十三復局長
 第五十四復局長
 第五十五復局長
 第五十六復局長
 第五十七復局長
 第五十八復局長
 第五十九復局長
 第六十復局長
 第六十一復局長
 第六十二復局長
 第六十三復局長
 第六十四復局長
 第六十五復局長
 第六十六復局長
 第六十七復局長
 第六十八復局長
 第六十九復局長
 第七十復局長
 第七十一復局長
 第七十二復局長
 第七十三復局長
 第七十四復局長
 第七十五復局長
 第七十六復局長
 第七十七復局長
 第七十八復局長
 第七十九復局長
 第八十復局長
 第八十一復局長
 第八十二復局長
 第八十三復局長
 第八十四復局長
 第八十五復局長
 第八十六復局長
 第八十七復局長
 第八十八復局長
 第八十九復局長
 第九十復局長
 第九十一復局長
 第九十二復局長
 第九十三復局長
 第九十四復局長
 第九十五復局長
 第九十六復局長
 第九十七復局長
 第九十八復局長
 第九十九復局長
 第一百復局長

服兵役、其、他、

兵務、獎勵等、

送付候

光
三
吉

送付済

吳鎮 213. 5 送付済

0175 21.2:10

昭和二十一年一月十七日

兵部省 兵部

解体兵器地方分府

一、兵器部委員會ニ於テ應以スベキ物件ハ原則トシテ中央ニ於ケル特別委員會ノ議ヲ經テ處分スベキモノトス

但シ必要ニ應ジ以下二項ノ場合ニ限り地方分府ヲナスコトヲ得

二、軍用金額一口金五千圓未満ノ場合ニ在リテハ兵器部委員會ノ其ノ他

區擔當會社ノ責任ニ於テ處分スルモノヲ得

但シ次項ニ掲ケル需要及口用品物資製造向ニ軍用ヲ優先シ處分スベ

キモノトス

三、軍用金額一口金五千圓以上金三万圓未満ノ場合ニ在リテハ左ニ掲ケル

用途及び特別委員會ノ指示スル用途ニ直接充當スル場合ニ限り其ノ他

區擔當會社ノ責任ニ於テ處分スルコトヲ得
其ノ用途及優先順位ハ左ノ通りトス

1 食糧生産

2 石炭生産

3 輸送及通信確保

4 戦災復興

以前二項ノ處分ハ燃燃需要防止ノ趣旨ヲ以ツテ其ノ處分先ヲ最終需要者
(或ハ團體)ナルコトヲ確認シタル後之ヲ爲スコトヲ要ス

區擔當會社ハ地方處分ヲシタルトキハ遲滞ナク兵器廠以委員等
務局ニ處分品目、數量金額元所在場所處分先及其ノ用途ヲ明記シタル
地方處分報告ヲ提出スルモノトス

大本廠以委員處分限度ニ拘ラズ別種特ニ定アル物件ニ就テハ其ノ定ニヨ
ルモノトス

(備考)

置渡價格ハ「買却物件ノ價格決定ノ方針」ニ依ル

0178

昭和二十一年一月十九日

第三回兵器處理特別委員會提出議案

兵器處理委員會事務局處理課

一、處理要領案

- 第六號 有機ガラス處理要領
- 第七號 故及屑ゴミ處理要領
- 第八號 高壓容器處理要領
- 第九號 ドラム罐處理要領
- 第一〇號 軸受處理要領

0179

有機ガラス處理要領（案）

兵器處理委員會

0180

一、各種兵器ヨリ生ズル有機ガラスハ三菱化成工業株式會社及藤倉化成（株）工業株式會社ニ一括拂下グルヲ原則トス

但シ引取ニ關スル責任ハ總ベテ三菱化成工業株式會社之ヲ負フモノト

シ引取配分等細部ニ關スル事項ハ兩者協議決定スルモノトス

二、處理價格ハ現渡トシ新公正價格ヲ勘案シテ適正ナル例外價格ヲ決定

シ之ニ依ルモノトス

三、三菱化成及藤倉化成株式會社ハ部分數資金額原所在個所処分先及其ノ用途ヲ明記

ナル報告書ヲ毎月末兵器處理委員會事務局ニ提出スルモノトス

備考

有機ガラスニ付テハスベテ中央處理ニ依リ處理要領第一號解體兵器

地方處理要領ハ適用セサルモノトス

昭和二十一年一月十七日

兵務部陸軍委員會

廢鐵處理ニ關スル件

一、廢鐵ハ廢兵器ヨリ生ズルモノニ限リテ、集積場所ニ集積シタルモノ
ヲ謂フ

註一、兵務部處理委員會ヲシテ、又ハヤシムベキ物件ノ範圍等ニ「廢物ハ本

委員會員ノ受領ノ範圍内トス」トアリ

ニ從ツテ廢鐵ハ「特殊物件中原燃料配分方針」中ヨリ除外シアリ

二、廢鐵ハ集積場所ニ集積スルモノトシテ、金屬回收株式會社ノ集積場所ニ搬入

スルモノトス

但シ作業ノ必要上、鐵道社構内ニ搬入解体作業ヲ行ヒタルモノニ付テハ

同社場ヲ金屬回收〇ノ集積場所ニ代用ヤシムルコトヲ得ルモノトス

三、前項但書以外ノ場所ニ搬入ノ必要アル場合ニハ、事務局金屬回收株式會

- 社ト協議決定ノ上之ヲ通知ス
- 四、地方ニ於テ撤入先來票ノ要アル場合ニハ郵務局ニ連絡スルコト
- 五、保有ヲ必要トスル場合ハ金庫同收株式會社ヲシテ保有ヤシムコト
- 六、地場販賣ハ特別委員會ノ審議ニヨリ決定ス
- 七、賣渡價格ハ新公定價格ニ依ル但シ新公定價格決定迄ハ便宜豫納金ヲ取
收ノ上新公定價格決定ノ上計算風填スルモノトス
- 八、層級ノ種類分類ハ金庫同收株式會社ノ分類規定ニ依ル
- 九、金庫同收株式會社ノ分類規定ニ依リ難キ場合ハ別途之ヲ決定ス
- 十、賣買契約ハ擔當社ニ於テ需要家ト契約スルモノトス
- 十一、現場ニ於テ電氣爐等ニ依リインゴット化ヤル場合ト雖キ委員會トシ
テハ層級トシ引渡シインゴットハ其社ノ責任ニ於テ之ヲ操作スルコト

軍用要領第三號

昭和二十一年一月十七日

兵器處理委員會

故又屑、銅、鉛、鋳及其合金、軍用要領(案)

一、兵器處理委員會ニ於テ處理スベキ故又屑、銅、鉛、鋳、錫及其ノ合金ハ廢兵器ヨリ生ジタルモノ以テ集積場所ニ故又屑トシテ集積シアルモノヲ指ス

二、兵器處理委員會ニ於テ受領シタルモノハ原則トシテ左ニヨリ處分スルモノトス

(1) 廢兵器ヨリ生ジタルモノニ在リテハ地場販賣ヲ爲ス場合ヲ除キ一括金購回收株式會社ニ賣渡スモノトス

(2) 集積場所ニ故又屑トシテ集積シアルモノニ在リテハ一括金購回收株式會社ニ賣渡スモノトス

三、前項(1)ノ地場販賣ハ特別委員會ノ審議ニヨリ決定ス

0183

四引渡方法其他具体的事項ニ關シテハ兵器庫地委員會又ハ同委員會地區

擔當會社ト買受人トノ協議ニ依ルキトス

買渡價格ハ新公定價格ニ依ル

但シ金融配給統制株式會社及並同回收株式會社ニ買渡ス場合ハ一定手續料ヲ差引キタルモノトス

0184

昭和二十一年一月十七日

兵隊廠委員會

故又屑ノ輕金屬類ノ成分ニ關スル件(案)

一、故又屑ノ輕金屬類ハ廢兵器ヨリ生ジタルモノ及棄積場所ニ故又屑トシ

テ集積ヤラレタルモノヲ云フ

二、故又屑チユラルミンノ成分ハ概ホ左記ニヨル

イ 古河電氣工業株式會社
扶桑電機工業株式會社
株式會社 戸製所

六割(送電鐵道加工原料)

ロ 輕金屬鑄造組合

一割(家庭器具等ノ原料)

ハ バイヤー工場

三割(アルミニウム製造)

三、輕金屬鑄造組合ニ引渡スベキ故又屑ハ概ホ左記ニヨル

イ 古河電氣工業株式會社 日本輕金屬鑄造組合

ロ 扶桑金屬工業株式會社

東洋、北陸 中部鐵金礦鑛造組合

近畿、四國 關西鐵金礦鑛造組合

株式會社神戸製鋼所 關西鐵金礦鑛造組合

西古河電氣工業株式會社

扶桑金礦工業株式會社

株式會社神戸製鋼所

渡先ハイパー工場ニ引渡スベキ故又層ノ引

日本鐵金礦株式會社清水工場

昭和電氣工業株式會社植根工場

住友化學新居濱工場

引渡變更ノ指未ヤリタル時ハ事務局ヨリ之ヲ通知ス

大拂下價格ハ新公定價格ニヨルモノトス

以上

0186

有機ガラス處理要領(案)

兵器處理委員會

一、各種兵器ヨリ生ズル有機ガラスハ三變化成工業株式會社及藤化成(

藤藤倉化學)工業株式會社ニ一括拂下クルニ原則トス

但シ引取ニ關スル責任ハ總べて三變化成工業株式會社之ヲ負フモノ

トシ引取割合等細部ニ關スル事項ハ兩者協議決定スルモノトス

二、製造價格ハ現據渡トシ新公定價格ヲ設案シテ適正ナル例外價格ヲ決

定シ之ニ依ルモノトス

三、三變化成及藤化成兩社ハ配分數額金繰原所在他所處分先及具ノ用途

ヲ明瞭セル報告書ヲ毎月末兵器處理委員會事務局ニ提出スルモノト

ス

備 考 有機ガラスニ付テハ凡テ中央處理ニテリ處理要領第一號併

兵器地方處理要領ハ参照セサルモノトス

故及屑ゴム（業）

一、各種兵器ニ附屬セル故及屑ゴム（タイヤーチューブ防弾用ゴム可撓管

故管パツキング等）ハ全日本再生ゴム材料統制組合ニ一括拂下グルヲ

原則トス

二、故及屑ゴムノ類別ハ全日本再生ゴム材料統制組合ノ分類規定ニ依ル

三、故及屑ゴムノ賣渡價格ハ現場決トシ公定價格（昭和二十年十一月二十

八日附二）二局第九五七號通牒ニヨル商工大臣許可價格）ニ依ル

四、全日本再生ゴム材料統制組合ハ各分品目数量金額元所在何所屬分先及

其ノ用途ヲ明記セル報告書ヲ毎月木兵器統制委員會事務局ニ提出スル

チノトス

備考

一、ゴムヲ第一種物件（海活用スベキ物件）トシテ處分スル場合ハ本

2 府ニムノ職ニ關シテハ第一場ニヨリ中央場ニ據ル

高压容器ノ處理安価 (案)

一 高压容器ノ處理ニ關シテハ處理安価票第十一號解任兵器地方處理安価票

二 其中「賣却金額一口五圓未満」トアルチ「賣却本數一口十本未

滿」第三号中「賣却金額一口五圓以上五圓未満」トアルチ「賣

却本數十一本以上五十本未満」トシテ處理スルモノトス

一 賣渡價格ハ現場渡トシ左記協分ニ依リ決定スルモノトス

1 直チニ使用可能ナルモノ (上)

(新公定價格ニ依リ新品ハ其ノ程度ニ應ジ公定價格ノ七割返下ヌコ

トナ得)

2 修理チ要スルモノハ若クハ (中)

「バルブ」ナキモノ

(公定價格ノ五割)

5 使用不可能ナルモノ (下)

(附 後 裕)

三 前二項以外ノ點ニ關シテハ解任兵隊地方編製要領ニ據ルモノトス
四 高圧容器ノ中央配分ニ關シテハ自該物資需給計畫ノ配分基準率ニ準據
シ向々ニ處置スルモノトス

0191

ドラム罐 陸軍要領(案)

兵器庫庫地委員會

- 一、ドラム罐ノ處理ニ關シテハ、陸軍要領第一號解體兵器庫地方庫地要領第二
 項中「賣却金額一口金五千圓未満」トアルヲ「賣却本數一口二十本未
 滿」第三項中「賣却金額一口銀五千圓以上金三萬圓未満」トアルヲ「
 賣却本數一口二十一本以上日本未満」トシテ處理スルモノトス
- 二、賣却價格ハ、現物渡トシ左記區分ニ分ニ依リ決定スルモノトス
 - 1 直子ニ使用可能ナルモノ(上) 新公定價格ニ依リ故品ハ其ノ程度
 ニ應ジ公定價格ノ七割迄下スコト
 - 2 修理ヲ要スルモノ(中) 公定價格ノ五割
 - 3 使用不可能ナルモノ(下) 附價格
- 三、前二項以外ノ點ニ關シテハ、解體兵器庫地方庫地要領ニ據ルモノトス

四、ドラム缶ノ中央配分ニ關シテハ、自該物寄附給付書ノ配分表等ニ根據
シ、尚々ニ詳細スルモノトス

0193

軸受處理要領

兵器處理委員會

- 一、軸受ノ引取り機關ハ兵器處理委員會トシ兵器處理委員會ハ日精、光洋、東洋、不二越、加ノ五社ヲ以テ軸受處理協議會ヲ結成ヤシム
- 二、兵器處理委員會ハ軸受處理協議會ニ對シ一括拂下グルヲ原則トス但シ兵器ノ餘存ニヨリ生ズル軸受ニツイテハ別途處理スルヲ妨グズ
- 三、軍工廠保有軸受ノ調査保守引取等ニ關シ軸受處理協議會ハ兵器處理委員會ニ密接ニ協力スルモノトシ實施ノ細目ニ關シテハ兩者ノ協議ニヨルモノトス

軸受處理協議會ノ現品引取地別會費配分ハ次ノ如シ

北海道 日精

東北 日精

關東 日精、光洋、加

東洋、不二越

信越 不二越

北越 不二越

近畿 東洋、旭

中国 光洋

四国 光洋

九州 不二越、東洋

又輸受ノ賣渡價格ハ新公定價格ヲ勘案シ適正ナル例外價格ヲ決定シ之ニ依ルモノトス

大輸受處理協議會ハ調査ノ結果及應分先ノ最勝業者ヲ毎月末商工省工務局及兵務局處理委員會ニ報告スルモノトス

備考

1 輸受處理協議會ハソノ引取リタルモノノ應分ニ關シテハ機械類處理委員會ノ指示ニ従フモノトス

長官 地方復員局長官殿

二復總務局第一二二號

昭和二十一年二月四日

庶務課長

りん

長官

總務部長

（印）

第二復員省總務局長

（印）

横須賀 吳 佐世保 舞 大阪 大

各地方復員局長官殿

特殊糧食品取得ニ關スル件照會

聯合軍ヨリ返還ヲ受ケタル特殊糧食品ノ取得ニ關シ義ニ二復總務局第七號ニ依リ通知中ノ處主食ニ供シ得ルモノハ地方長官ヨリ食糧事務所ニ引

渡ノコトトシテ各需品部ハ同事務所ヨリ賣却ヲ受ケルコトニ改メテレケルニ付了知相成度

追テ本件ニ關シ内務省及食糧官制局ヨリ別紙ノ通指令齊ニ有之

（別紙添）

寫字付先 復員局庶務課長

（終）

の

21 2 4

0196

別紙(一)

電報

一月十九日發信

發 食糧管理局長官

内務省調査部長

宛 各地方長官

客年十二月二十四日附内務省發調第三六四號通牒ノ特殊糧食ニ屬スルモノト雖モ主食ニ供シ得ルモノハ十一月十日附二〇食糧第二一〇一號通牒ノ食糧事務所ニ賣却スルモノトシ食糧事務所ヨリ復員用トシテ關係方面ニ賣却スルコトニナリタルニ付爲念

(終)

0197

別紙 (一一)

昭和二十一年一月二十四日

食糧管理局米麥課長

各食糧事務所長 殿

軍需主食糧中特殊糧食ニ關スル件

軍需主食糧中携帶口糧等ニ付アハ義ニ電報シタル所ニ依リ凡テ復員者用ニ
使用スルコトトシ政府運送ニ依リ軍需地復員局地方需品部ニ賣却スルコ
トニ致度ニ付御承知相成度此段及週知候也
追而需要地並發地受地關係ハ左表ノ通ニ付申添候

記

發地食糧事務所	青森	大湊地方復員局需品部
北海道	青森	大湊地方復員局需品部
岩手、宮城		
秋田、山形		

愛 媛 高 知	徳 島 香 川	岡 山 山 口	島 根 鳥 取	奈 良 和 歌 山	滋 賀 兵 庫	岐 阜 三 重	富 山 石 川	新 潟 福 井	東 京	静 岡 愛 知	山 梨 長 野	埼 玉 千 葉	枋 木 群 馬	福 島 茨 城
廣 島			大 阪			京 都		横 濱						
关 东 地方 復 員 局 審 品 部			大 阪 地方 復 員 局 審 品 部			舞 鶴 地方 復 員 局 審 品 部		横 濱 地方 復 員 局 審 品 部						

0199

福岡佐賀		
熊本大分	長崎	
宮崎鹿兒島		佐世保地方復員局籌品部

備考

一 受地事務所ハ看聯關係ノ發地事務所ニ通知ノコト
 二 重要地所在府縣分ニ付テハ所管事務ニ於テ賣却先ト適宜打合
 ノ上處理スルコト

(終)

運輸部 河原石移轉案

一、運輸部及積修課の準備出來次第津久茂（河原石繁興）ニ移轉ス但航行統制課

ニ右移轉ニ對シ考慮スル事項左ノ如シ

(1) 航行統制連絡官事務室ヲ殘置ス

(2) 津久茂ハ中華民國ニ返還スルコトアルベキニ付吳復内ノ事務室ハ其ノ

場合再使用ヲ考慮ス

(3) 吳復内現使用ノ私室ヲ殘置ス

(4) 自動車大型一小型（ダットサン）一臨時使用可能ナラシム

(5) 家具（特ニ蚊帳）調度品ヲ貸與ス

三、通信

(1) 無線ノ受信ノミヲ津久茂ニ於テ實施ス

待受電波東京ニ放大放

地方系部隊系ニ依ル關係監視報ハ有線ニテ轉電ノコトトス

電信員要務員トシテ電信員十五名ヲ要ス

(2) 差當リ現用運輸部港務課間電話線ヲ吳復内交換ニ入レ電信併用可能ナ

ラレム

(3) 速カニ一回線ヲ増備ス

運輸部港務課河原石移轉案

一、運輸部及港務課ハ準備出來次第津久茂（河原石繫留）ニ移轉ス但航行統制連絡官及同附並ニ他部配屬運輸部附ハ移轉セズ

二、右移轉ニ對テ考慮ヲ要スル事項左ノ層如シ

- (1) 航行統制連絡事務室ヲ殘置ス
- (2) 津久茂ハ中華民國ニ返還スルコトアルニ付吳復内ノ事務室ハ其ノ場合再使用ヲ考慮ス
- (3) 吳復内現使用ノ私室ヲ殘置ス
- (4) 自動車大型一小型（ダットサン）一隨時使用可能ナラシム
- (5) 器具（特ニ收帳）調度品ヲ貸與ス

三、通信

(1) 無線ノ受信ノミヲ津久茂ニ於テ實施ス

待受電波東京二放六種以

地方系部隊系ニ依ル關係電報ハ有線ニテ轉電ノコトトス

電信要員要務員トシテ電信員十五名ヲ要ス

(2) 差當リ現用運輸部港務課間電話線ヲ吳復内交換ニ入レ電信併用可能ナラシム

(3) ナルニテ一回線増備ス

絡一ノ一普通台第八〇號

昭和二十二年二月六日

終戦連絡中央事務局第一部長

終戦連絡中央事務局第二部長

終戦連絡吳事務局長殿

航空機工場工廠及研究所ノ保全、管理、維持ニ
關スル件

航空機工場、工廠及研究所ノ保全、管理維持ニ關スル一月二十日附指令ニ關シテハ、彙ニ總司令部外周ヨリ發表セラレタル通りナルモ本指令ニ付テハ其ノ内容ニ關シ關係方面ニ於テ種々疑義ヲ懷キ居リ特ニ別表欄用工場等ニ付テハ不安ヲ感ジ居ル趣ナルヲ以テ其ノ後當事務局ト第八軍本部打合ノ結果左記ノ諸點明瞭トナリタルニ付了知セツレ度
管理ニ關スル法令、管理要領其ノ他詳細ハ目下中央ニ於テ準備中ナルヲ以テ決定次第連絡ノ豫定ナルニ付現地ニ於テモ地方廳、財務局、地方商

(郵文タイプライター用紙甲)

0203

海軍

工同等關係方面ニ對シ充分連絡ノ上遺憾ナキヲ期セラレ度
尙左ノ事項ニ付特ニ留意相煩度

一 一月三十日附第八車指令ヲ了知ノ上可然準備連絡ヲ圖ルト共ニ特ニ同
指令第四項ノ報告ニ關スル關係機關ノ處理ニ付遺憾ナキヲ期セシメラ
レ度キコト

二 指令適用施設ハ其ノ全機機設備等ニ付更メテ目錄ヲ作成スベキ等ナル
モ具ノ様式ノ大要ハ第八車本部ニ於テ定メ更ニ現地米車ヨリモ指示ア
ル等ナルコト

三 施設管理權受領後ノ日本側責任者ニ付テハ各省ノ意向ニ基キ概ホ左ノ
通り豫定シ居ルコト(但シ第八車ノ意向ニ基キ變更ヲ生スルヤモ知レ
ス含膽カレ度)

(1) 航空機工場 商工大臣 | 地方長官 | 施設ノ經營 | 當該各施設 | 協力機關
| 所有又ハ所有者 | 管理擔當者 | 地方商工局長 | 關係機關

(2) 車工廠 大藏大臣 | 財務局長 | 當該各施設
車研究所 管理擔當者

海軍

(邦文タイプライダ―用紙甲)

(3) 其ノ他ノ研究所

(4) 民間ノモノ
主務大臣―地方長官―
施設ノ經營
所有又ハ所有者
當該施設
管理擔當者

(ロ) 官有ノモノ
文部大臣―帝大總長―
當該施設
管理擔當者

退テ一月二十日附指令(別表省略)及一月三十日附指令各為參考
ノ為添附スベキニ付申添フ

記

一、指令別表ニケラレタル工場、工廠、研究所ハ賠償ノ對象トシテ撤去セララルコトニ確定シタルモノニ非ス之ガ確定ハ將來ノコトニ關シ別途賠償關係ノ決定ニ俟ツモノニシテ一應撤去ノ對象トシテ考慮セラレベキモノノ保全ヲ命シタルモノナリ

二、別表工場等ノ「リスト」ハ誤謬アルベキニ付今後第八軍ニ於テモ現地ニモ照會シ確メタル上訂正スベキモノハ訂正セラレ應定ナリ(現在中央事務局ヨリ第八軍本部ニ對シ訂正、再檢討等ニ付申入中ナリ)

三、本指令ノ適用ヲ受タル範圍ハ工場、工廠、研究所内ノ機械等設備ニシテ工場等ノ私有財産タル製品、原材料ニハ及ハス(但シ舊陸海軍ニ屬

海軍

シタル厩糞、食料品、衣料品、原材量等ハ所謂特殊物件ニシテノ處理
ヲ受クルモノナリ

四 米軍側ヨリ内務省ニ拂下ケフレタル所謂特殊物件ニ付テハ引續キ引取
ヲ繼續シテ差支ナシ但シ急遽ニ引取ル様指導スベキモノトス

五 轉換スル爲新ニ搬入シタル私有物タル機械等ニ付テハ之カ取出ハ考慮
セフルベシ從テ目錄ニ於テ之ヲ明瞭ナラシメ置クコト必要ナリ

六 工廠内ノ所屬宿舍等ニ對スル適用ノ範圍或ハ工場一部カ指令ニ該當ス
ル場合ノ適用範圍等ニ於テハ米軍地方指揮官カ實情ヲ取調ヘ決定スル
コトトナルベシ敷地内ノ田 等ノ耕作ハ指令ニ基ク管理保全ニ妨ケナ
キ限リ引續キ之ヲ爲スモ差支ナシ

七 指令適用施設ノ設備カ他ニ疎開セラレ居ル場合ハ原狀回復スルヲ原則
トスルモ移轉先ニ於テ充分保全セフルルモノニ付テハ具體的ニ現在地
ニ於テ保全スルコトヲ認メラルル場合アリ

八 轉換許可ニ付テハ再檢討セララルル豫定ナルモ既許可ノモノニ付テハ何
分ノ指令アル迄許可効力ヲ有スルヲ以テ操業等繼續シテ差支ナシ
轉換許可ノ再審査ニ付テハ工場側ハ從ラニ轉換ノ取消サルル虞アル狀

(邦交大臣ノイター用紙中)

態ヲ坐視スルコトナク石産業カ民需充足ニ缺クヘカラザルモノナルコトヲ積極的ニ現地米車ニ納付セシムルヲ可トス(前中央ニ於テモ各省ト連絡ノ上總司令部及第八軍本部ニ對シ同様準備スベク準備中ナリ)九管理保全ニ當リテハ現地米車ヨリ施設カ日本側ニ引渡サレタル後ニ於管理ノ責任ヲ日本側ニ於テ負フモノニシテ之ガ爲必要ノ措置ハ目下政府ニ於テ準備中ニ付關係方面ニ追テ連絡スル豫定ナリ

本信爲送付先

大藏省 陸軍省 農商務省 文部省 逓信省 厚生省 農林省 運輸省
終戦連絡部長 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室
終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室 終戦連絡室

(終)

海軍

0207

長官

総務部長

総務課長

庶務課長

高松戦務局長
高松戦務局長

伊藤 長英	伊藤 長英	伊藤 長英	伊藤 長英
神川 板倉	神川 板倉	神川 板倉	神川 板倉
藤川 藤川	藤川 藤川	藤川 藤川	藤川 藤川
田辺 姉尾	田辺 姉尾	田辺 姉尾	田辺 姉尾
西脇 安永	西脇 安永	西脇 安永	西脇 安永

起草者

庶務主任

祭長官

工作機械 時使用許可三箇年以内

二月二十日附上第一八號ヲ以テ其法交商株式會社

社及子ノ高知縣機械類處理委員會委員長

宛申請ノ旨題 件ハ復員扶助該ニ夫業者救濟事

業トシテ高知ト認リニ付特ニ御配念ヲ得度

吳地復第三四號

昭和三年二月一日

官送付先 高知地方復員局中

0208

寫

吳地方復興局長官殿

高知人第二三號ノ二九

昭和二十一年一月二十四日

高知地方復興人課部長

高松財務局長殿

高松財務局長殿

再

工作機械一時使用許可ニ關スル件照會

別紙申請書ニ依ル首題ノ件復興扶助事業トシテ吳復興局長官ノ大イニ推奨スル處ニシテ早急ニ發足ノ要有之旨修特ニ御配慮ヲ得度

寫送付先

高知縣知事

吳地方復興局長官

相育た項持・付充分活用ニ關シ共慮ニ度

海軍

海軍

一月二十五日送付

松田

21.1.30

0209



土第一八號

昭和二十一年一月廿二日

高知市浦戸町壹番地

土佐電機株式会社

取締役社長 宇田耕一

機械部處理委員會 委員長 殿

工作機械一時使用許可申請書

弊社ニ於ケル車輛ノ現況ハ長期間ニ渉ル特種輸送要請ニ順應シ保守
 修繕不行屬ノ結果損耗甚ダシク故障車輛出シタル上ニ多數ノ戦災車ヲ
 生ジ廻用輛數ニ不足ヲ來シ縣下交通運輸機關トシテノ使命達成ニ甚ダ
 遺憾ノ點ヲ痛感シ早急修繕整備ニ日夜苦心致届候風弊社修理工場ニ於
 ケル機械設備ハ極ノテ貧弱ナルモノニシテ修繕能力微々タルモノニ付
 之ヲ設備ノ改善強化ハ刻下ノ急務ト相成候故從來部分品ノ新調ニ
 要スルモノ大體令テ既済ノ上ニ於テハ修理工場ニ於テ

0210

勢ニ付自工場ノ急遽ナル完備ノ必要ヲ痛感致し候今般復員軍人並ニ職
員失業工員等多敷工場受員トシテ採用仕リ候間別紙明細書ニ依ル元海
軍関係工作機械ノ一時使用ヲ蒙リ自工場ノ機能強化補充及降下陸運車
輛ノ一般修繕、一部車輛ノ新製ヲ目的トスル工場ノ設立ヲ計畫仕度
候條特別ノ御監照ヲ以テ一時使用許可相蒙取此段及申請候也
竊送付先

高 知 縣 知 事

高知地方復員人事部

高松地方商工庶理部

高松地方財務部

吳地方復員局長官

0211

名稱	數量	所在地	舊所屬
旋盤	四臺	浦戸 宇須々木基地	二十一突撃隊
同 附屬品	一組	浦戸 宇須々木基地	二十一突撃隊
型削盤	一臺		
ボール盤	一臺	浦戸 宇須々木基地	二十一突撃隊
研磨盤	二臺		
瓦斯熔接器	一臺	浦戸 宇須々木基地	二十一突撃隊
同 器具	一臺		
鍛冶器具	一臺	浦戸 宇須々木基地	二十一突撃隊
金工器具	一臺		
木工器具	二臺	浦戸 宇須々木基地	二十一突撃隊
鐵標機械	一臺		
手押鉋盤	一臺	浦戸	吳十一特陸

0212

柄付 莖	火 根	十 籠	ハ 七 折 箸	踏 口 箸	角 口 箸	丸 口 箸	平 口 箸	圓 打 貫	溝 臺	銅 工 金 敷	岡 臺	金 敷
三 個	四 個	二 個	一 組	四 組	六 組	一 組	七 組	六 臺	五 臺	四 臺	二 臺	四 臺
			浦 戸				知 寄 戸 町	浦 寄 戸 町	知 寄 戸 町	浦 戸	浦 戸	知 寄 戸 町
			吳 十 一 特 陸				高 知 空	吳 十 一 特 陸	高 知 空	吳 十 一 特 陸	吳 十 一 特 陸	高 知 空

0213

道具箱	砂誌	砂突	木製定盤	鑄造饅頭	甘燗箸	鹽酸壺	六角壺	又拉	圓拉	鑿ノ手定規	書線器	鑿
七個	一個	一個	一臺	四個	二組	五個	九臺	三個	六個	九個	一個	六二個
			浦戸				知浦寄戸町	浦戸	知浦寄戸町	知浦寄戸町	浦戸	知浦寄戸町
			吳十一特陸				高知空	吳十一特陸	吳十一特陸	高知空	吳十一特陸	高知空

0214

鐸 物 尺	自 動 錠 採 器	鐵 錠	重 壓 機	鞆 鞆 又 機 械	錠 付 燈	萬 力	錠 刷 毛	手 錠	ガ ス 溶 接 具 置	ア セ チ レ ン ガ ス 器	追 齒 錠 採 器	數 字 刻 印
二個	二個	三個	一個	二臺	一個	一五個	四個	一四個	一個	一個	一個	二個
	浦 戸		浦 戸	同 右	同 右	同 右	同 右	知 浦 寄 町	同 右	同 右	浦 戸	知 浦 寄 町
	吳 十 一 特 陸		吳 十 一 特 陸	同 右	同 右	同 右	同 右	高 吳 知 十 一 特 陸	同 右	同 右	吳 十 一 特 陸	高 吳 知 十 一 特 陸

0215

同 附屬具	卓 上 旋 盤	同 附屬具	六 呎 旋 盤	製 釘 機	火 箸	蜂 巢	移 動 機	鐵 葎 締	入 レ 際	釘 拔 小	灣 曲 線 機	ガ ス 發 生 器
一 組	一 臺	二 組	二 臺	一 個	二 九 個	一 個	二 個	一 個	一 個	五 個	一 臺	三 臺
			知 寄 町				浦 戸			知 浦 寄 戸 町		
			高 知 空				吳 十 一 特 陸			高 吳 知 十 一 特 陸 空		

0216

トリスカン	金工鏡(甲)	弦 鋸 鋸	硬度試験器	高温度計	電 氣 鐘	フ ラ イ ス 盤	鐵板灣曲機	同 附 屬 品	鑽 孔 機 械	研 磨 機 械	同 附 屬 具	形 削 機 械
二個	八個	一個	一個	二個	一個	一臺	一個	一組	一臺	一臺	一組	一臺
知寄町												
高知空												

0217

研 磨 機	攪 拌 機	酸 素 容 器	長 定 機	追 羽 錐 採 機	錐 立	錐 引 針	金 工 錐 鉋	酸 素 ガ ス 切 斷 器	酸 素 ガ ス 溶 接 器	減 壓 弁	安 全 器	遊 標 尺
一個	二個	四個	一個	二個	一個	一個	一〇個	一組	一組	一個	二個	三個
知寄町												
高知空												

0218

山形鋼	板鋼	帶鋼双接器	打釘機	青銅質棒	木工萬力	糸鋸機	自動研磨機	木工旋盤	手押鋸機	鑽孔機	圓鋸機	自動鉋機
四個	一〇個	一個	二個	一個	一個	一臺	一臺	一臺	一臺	一臺	一臺	一臺

知寄町

高知空

0219

眞鍮板	銅棒	眞鍮棒	鋸鋸刃	緩金	ブリキ板	亜鉛地金	眞鍮板	鋳物熔接棒	アルミニウム棒	眞鍮熔接棒	鐵熔接棒	道具銅
一個	五個	三一個	一八枚	八〇個	一二個	一〇	三	一	八	一五	一〇	一二個
知寄町												
高知空												

0220

糸 鉛 双	俵 木 書	砥 石	丸 砥	鐵 ク ア エ ン モ ン	赤 血 鹽	支 那 タ レ ー	石 酸	鹽 酸	ア ル ミ ニ ウ ム 檢	繼 目 無 銅 管	銅 板
六本	一二個	五個	四個	二個	二個	三	三	三	三個	一五個	一〇個

知寄町

高知空

0221

土第 二二 號

昭和二十一年一月二十六日

高知市瀬戸町壹番地

土佐通株式会社

取締役社長 宇田 耕

吳地方復員局長官 殿

総務課長 部長

工作機械一時使用許可申請書寫シ提出ノ件

弊社備別紙ノ通り首題申請書提出仕置候ニ付テハ同寫シ茲許及提出

候也

幸知人部 本件移籍ニト

現地処理シテ



0222



土第一八號

昭和二十一年五月廿二日

高知市浦戸町一番地

土佐電通株式會社

取締役社長 宇田耕一

機械類處理委員會 委員長 殿

工作機械一時使用許可申請書

弊社ニ於ケル車輛ノ現況ハ長期間ニ渉ル特種輸送要請ニ順應シ保守
 修繕不行屆ノ結果損耗甚ダシク故障車輛出シタル上ニ多數ノ戰災車ヲ
 生ジ運用輛數ニ不足ヲ來シ縣下ニ通運輸機關トシテノ使命達成ニ甚ダ
 遺憾ノ點ヲ痛感シ早急修繕整備ニ日夜苦心致層候處弊社修理工場ニ於
 ケル機械設備ハ極メテ貧弱ナルモノニシテ修繕能力微々タルモノニ付
 之ガ設備ノ改善強化ハ刻下ノ急務ト相成層候從來部分品ノ新製造ニ保

0223

守工事ノ大部分ヲ民間工場又ハ運輸省工場等ニ委託シ辛ジテ今日迄
營シ來リシモ之等工場ノ戰災ニ因リ今後ハ委託修繕極メテ困難ナル狀
勢ニ付自工場ノ急速ナル完備ノ必要ヲ痛感致候今般復員軍人並ニ戰
災失業工員等多數工場要員トシテ採用仕リ候間別紙明細書ニ依ル元海
軍關係工作機械ノ一時使用ヲ蒙リ自工場ノ機能強化擴充及縣下陸運車
輛ノ一般的修繕、一部車輛ノ新製ヲ目的トスル工場ノ設立ヲ計畫仕度
候條特別ノ御詮議ヲ以テ一時使用許可相蒙度此段及申請候也

寫送付先

高知縣知事

高知地方復員人專部

高松地方商工處理部

高松地方財務司

吳地方復員司長官

0224

名稱	數量	所在地	舊所屬
手押砲盤	一臺	浦戸	吳十一特陸
鑽樣機械	一臺	浦戸	吳十一特陸
木工要具	二臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
金工要具	一臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
鍛冶要具	一臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
同器具	一臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
瓦斯熔接器	一臺	浦戸	吳十一特陸
研磨盤	二臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
ボール盤	一臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
型削盤	一臺	宇須々木基地	二十一突撃隊
同附屬品	一組	宇須々木基地	二十一突撃隊
旋盤	四臺	浦戸	二十一突撃隊

0225

柄付鑿	火掻	十能	ハセ折箸	鷲口箸	角口箸	丸口箸	平口箸	圓打貫	溝蓋	銅工金敷	同蓋	金敷		
三個	四個	二個	一組	四組	六組	一一組	七組	六蓋	五蓋	四蓋	二蓋	四蓋		
				浦戸					知浦寄戸町	知浦寄戸町	浦戸	浦戸	知浦寄戸町	
				吳十一特陸					高知空	吳十一特陸	吳十一特陸	吳十一特陸	高知空	吳十一特陸

0226

道具箱	砂詰	砂突	木製定盤	鑄造饅	掛指箸	鹽酸壺	六角臺	又粒	圓粒	鍵ノ手定規	衝線器	壺
七個	一個	一個	一臺	四個	二組	五個	九臺	三個	六個	九個	一個	六二個
		浦戸				知浦寄戸町	浦戸	知浦寄戸町	知浦寄戸町	浦戸	知浦寄戸町	
		吳十一特陸				高吳知十一特陸	吳十一特陸	高吳知十一特陸	高吳知十一特陸	吳知十一特陸	高吳知十一特陸	

0227

鑄物尺	自動捲採器	鐵槌	重壓機	振摺双機械	鋸付燈	萬力	鑿刷毛	手鋸	ガス熔接具	アセチレンガス全器	追齒捲採器	數字刻印
二個	二個	三個	一臺	二臺	一個	一五個	四個	一個	一個	一個	一個	二個
	浦戸		浦戸	同右	同右	同右	同右	浦戸 知寄町	同右	同右	浦戸	浦戸 知寄町
	吳十一特陸		吳十一特陸	同右	同右	同右	同右	吳十一特陸 高知空	同右	同右	吳十一特陸	吳十一特陸 高知空

0228

同 附屬具	卓上 旋盤	同 附屬具	六呎 旋盤	製 釘 機	火 箸	蜂 巢	移 動 鞆	鐵 箱 締	入 レ 際	釘 拔 小	灣 曲 線 機	ガス 發 生 器
一組	一臺	二組	二臺	一個	二九個	一個	二個	一個	一個	五個	一臺	三臺
			知寄町						浦戸	知寄町		
			高知空						吳十一特陸	吳十一特陸		

0229

トリスカン	金工鉋(甲)	弦掛銅	硬度試験器	高温度計	電気鐘	フライス盤	鐵板灣曲機	同附馬盤	鑽孔機	研磨機	同附器具	形削機
二個	八個	一個	一個	二個	一個	一臺	一個	一組	一臺	一臺	一組	一臺

知寄町

高知空

0230

遊 標 尺	安 全 器	流 壓 弁	酸 素 ガ ス 溶 接 器	酸 素 ガ ス 切 断 器	金 工 錐 鉋	鋸 引 針	錐 立	追 羽 錐 採 機	長 定 鋼	酸 素 溶 器	摺 新	新 磨 機
三 個	二 個	一 個	一 組	一 組	一 〇 個	一 個	一 個	二 個	一 個	四 個	二 個	一 個
知 寄 町												
高 知 壺												

0231

山形銅	板銅	帯鋸刃鋸接器	打釘機	青銅貨種	木工萬力	糸鋸機	自動研磨機	木工旋盤	手押鋸機	鑽孔鉸機	圓鋸機	自動鉋機
四個	一〇個	一個	二個	一個	一個	一臺	一臺	一臺	一臺	一臺	一臺	一臺

知寄町

高知空

0232

眞鍮板	銅棒	眞鍮棒	鋸鋸刃	殺金	ブリキ板	亜鉛地金	眞鍮鍍	錫物熔接棒	アルミニウム 棒	眞鍮熔接棒	鐵熔接棒	道具銅
一四個	五個	五一個	一八枚	八〇個	一二個	一〇	三	一	八	一五	一〇	一二個

知寄町

高知空

0233

赤銅 刀	鉈 木 臺	砥 石	丸 砥	鐵 ク ア エ ン モ ン 鐵	赤 血 鐵	支 那 ク レ ー	硝 酸	鹽 酸	アル ミ ニ ウ ム 酸	雜 目 無 銅 管	鐵 釘
六本	一二個	五個	四個	二個	二個	三	三	三	三個	一五個	一〇個

知寄町

高知空

0234

長官

総務部長

総務課長

庶務課長

事務部長
事務課長

起業者

事務部長

伊藤 義典	藤 田 勇	西 脇 文 平
神川 敏 彦	藤 田 勇	西 脇 文 平
藤 田 勇	藤 田 勇	西 脇 文 平
藤 田 勇	藤 田 勇	西 脇 文 平
藤 田 勇	藤 田 勇	西 脇 文 平

起業者

2905

0235

創料用中麻袋造り、此造り、
 月給、同、別紙、第一、復員、大、官、房、造、り、
 得、安、易、也、有、之、候、事、由、量、方、可、然、取、計、相、成、後、
 (別紙係)

吳地復第 280 號

昭和三年二月九日

通

淨

校



皇太后復勅書

皇太后

御

老

國務部
官房庶務第一四號

庶務課長

昭和二十一年一月二十六日

第二復員大臣官房庶務課長

各地方復員局總務部長 殿

飼料用空麻袋返還ノ件照會

首題ニ關シ別紙寫ノ通日本飼料統制株式會社ヨリ申出アリタルニ付
返還相成様可然取計相成度

(別紙添)

(終)

海軍

0236

二〇〇 飼料 第八〇號

昭和二十六年六月十八日

東京都京橋區本挽町四丁目四番地壹

日本飼料統制株式會社

社長 河野 一郎

第二復員大臣 幣原 喜重郎 殿

飼料用空麻袋返還ニ關スル件

本會社ハ農林省ノ指示ニ基キ實管轄下各地方所屬機關ニ對シ飼料ノ配給ヲ致居候處配給價格ハ中味ノミノ價格ヲ以テシ之レガ容器タル空麻袋ハ各配給先ヨリ返還スベキコトヲ條件トシテ無償貸與致居弊支店ヲシテ直接之等配給先ニ對シ極力返還相成様御督促申上候得共一向ニ進捗セズ殊ニ終戰後之等各地方機關ハ閉鎖サレ弊社トシテモ

海軍

0237

未回収ノ儘ニ致スコトハ經營上支障抄ラザル次第ニ候間當該品無之
場合ハ代替品ニテモ結構ニ有之候ハハ貴官ヨリ各地方當該殘務處理
機關ニ對シ返還方御指示相煩度候此段御願申上候
追而配給先別貸付數ハ別紙ノ通りニ付申添候

海
軍

0238

貸付先	貸付数	回収数	未回収数	貸付先	貸付数	回収数	未回収数
第二海軍火薬研究所	2	0	2	名古屋造兵廠	53	0	53
海軍中川隊	17	0	17	横須賀海軍(四日市)	50	0	50
海軍芝浦施設補給部	1,037	0	1,037	津海軍工廠	166	0	166
海軍施設本部	67	0	67	長野兵器補給廠	33	0	33
第一海軍航空隊	305	24	281	横須賀海軍(長野)	180	0	180
第一海軍衣糧廠	50	0	50	舞鶴海軍	618	0	618
海軍+醫學校	257	0	257	三重航空隊	67	0	67
海軍航空技術廠	78	0	78	芝浦海軍施設	59		59
第一海軍航空技術支廠	302	302		大阪海軍施設部	1,278		1,278
横須賀海軍施設部	4,667	0	4,667	吳海軍施設	1,590		1,590
第一海軍相模航空隊	130	0	130	佐世保海軍	3,316	0	3,316
横須賀海軍+需部	550	65	485	福岡第二海軍療品廠	384	0	384
厚木海軍基地	60	0	60	小倉兵器廠	80	13	67
海軍+需部	8,135	0	8,135	大湊海軍施設部札幌支部	1,212		1,212
	4,994	0	4,994	合計	29,737	404	29,333

0239

海軍

吳施殘整第五號ノ十二

昭和二十一年二月十四日

吳地方復員局經理部

吳海軍施設部殘務整理班長



吳地方復員局總務部長殿

飼料用空麻袋返還ノ件回答

吳地復第三八四號照會首題ノ件燒爆流失等ノモノ現物皆無トナリ返還不能
ニ有之候

(終)

海 軍

(美 濃 厚 紙)

0240

吳需糧第一四〇号

昭和二十一年二月十三日

吳地方復員局需品部長

吳地方復員局總務部長殿

飼料用空麻袋返還、件回答

首題、件當部ニテ供給ヲ受ケルニ付該當事項無之候

終

21.2.14

0241

海軍

(起案用紙)

昭和 年 月 日
起案者 捺印

査閱 淨書 校合 2月 12日
發付 發送後起
案者捺印

77770

向藤部部長

12

司令長官

參謀長

參謀副長

補給長

參謀

副官

2

首 次

首 職 機 補 航 通

出參謀部	出副官部
附 務 主	

宛 廣島縣 轉用課 吳司令長官 起票

發 出 檢 査 部 長

轉用物件申請書 1件 移標

前向長官前記 各件 送元物件轉用申請書
之候處 本件ハ 返負者 扶助トモ 關係者之 候條 可

出申 論議 上 申 處理 得度

品年 候 不 備 之 點 對 申 入 取 込 手 續 報 告 等 候
條 合 意 申 出 得 度

書類 番號 吳 第 三 九 二 號 日 附 文 書 年 月 日

海 軍

0530

0242

倉倉會社

一、倉倉石鹼製造所

(代表 佐野 俊次)

二、廣島縣立倉倉會社

(代表 木村 茂雄)

三、株式會社 倉倉一倉糧食株式會社

(代表 曙田 友彦)

四、山風漁業組合

(代表 河部 茂)

五、島根縣上原郡日登村木林組合 島根縣上原郡日登村

(代表 森原 政友)

六、岡山縣小田郡福敷村船形職農用特殊穀物倉庫

(代表 多賀 柳 而)

岡山縣小田郡福倉村太字倉

尾市堀川通

廣島縣安佐郡戸山村

尾市海岸通 二丁目

總島縣那賀郡橋町

S450

0243